

防災

だより 7号

有楽自治会

今、地球がおかしい

— 災害を知り、自分を知り、
正しく備えよう —

地震・台風・豪雨・土砂災害は、近年、いつ、どこで起こるか、予想することができません！
自分の住んでいる所は、「大丈夫と思わず」この機会に家族で防災について話してみませんか？

①日本は地震の多い国です

世界で発生するマグニチュード5以上の地震は、約1割が日本とその周辺で発生しています。

関東大震災を例にすると、1923年の関東大震災より前、1705年の元禄地震、1855年の安政江戸地震と歴史的にも約100年周期で発生しており、現在、関東大震災から100年以上が経過しているため、今後30年以内にマグニチュード7クラスの大規模地震の発生確率が70%程度と推測されています。

また、海側プレートが陸側プレートに年間数センチ沈み込み続け、その沈み込みによるひずみのエネルギー（ひずみ解放で地震が発生）が蓄積していることも懸念されています。

②地震だけではなく

世界各地で異常な気象災害が発生しています。



大雨・線状降水帯



台風・強風



土砂災害



猛暑・山火事

③私たちの川崎市における災害リスク

【南部地域】



津波・河川氾濫

【北部地域】



がけ崩れ・土砂災害

有楽自治会地域では特に…



有楽自治会地域では、「谷埋め型」「腹付け型」などの大規模な盛土造成地が多く分布しており、土砂災害や造成地の崩落に注意が必要です。

災害から命を守るためにまずは**自助**、そして**共助**

①防災の基本は『自助』

発災時は、他人に期待することはできません。まずは、自ら準備しておくことが大切です。

家庭で**準備**しておきたいもの(例)

最低**3日分**、できれば**1週間分**を目安に準備しましょう。



②『隣所』-近所で助けあう

自分と家族の安全確保ができれば、次は地域の助け合いです。高齢者、子供、障害のある方など、一人での避難が難しい方がいるかもしれません。顔の見える地域のつながりが、災害時の大きな力になります。



③『共助』有楽自治会の防災

[一時避難場所]

地域内に3つ(災害状況によって、安全な場所への避難を判断して下さい)

1丁目
こども文化センター



2丁目
久敬社



3丁目
自治会館



[防災倉庫・備蓄品]



各場所に防災倉庫を整備しています。2丁目はR8年2月設置予定

[自治会館に生活水用井戸]



現在、故障中のため、今後の対応について検討しています。

[自主防災組織の本格活動]



来年4月の本格活動開始を目標に、地域の自主防災体制づくりを進めています。
(7/11の防災講座で詳細説明済み)

自主防災活動に興味があり、ご協力頂ける方は、有楽自治会ホームページ上部のメニュー欄にある「お問い合わせ」より連絡をお願いします。

防災たよりに関するお問い合わせは●氏名●電話番号●お問い合わせ内容を記入のうえ下記自治会代表の専用メール、またはホームページ「お問い合わせ」にご連絡下さい。担当より折り返し連絡させていただきます。

Mail : daihyo@chiyogaoka-yuraku.net



有楽自治会HP